



こんにちは

日本共産党

西野さち子です

くらしの目線で市政を変える

「市民の足・交通権を守ろう！」と東奔西走

「バス1日乗車券」の値上げ撤回を

京都市は、「市バス・京都バス1日乗車券カード」を今の500円から700円への「値上げ」を計画しています。当面の計画案は、1日乗車券を600円に値上げし、それと引き換えに地下鉄にも乗れる「京都観光1日乗車券」を1200円から900円に値下げするもの。醍醐・山科地域には市バスが走っていませんが、「市内中心部での乗り継ぎに便利」と均一区間での乗り継ぎは地域の方々からも喜ばれています。バス事業会計は14年連続の黒字ですから、値上げの必要は全くありません。日本共産党市会議員団のアンケートには2000近い回答が寄せられ、ほとんどが反対の声でした。日本共産党市会議員団は、8月9日に値上げをやめるように申し入れをしました。

バス停に上屋とベンチを

西野市議は今年度予算で「市内周辺部における生活交通の維持、確保

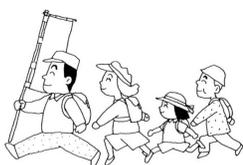


に係る民間バス事業者への支援」として6500万円が計上されている件について、まちづくり委員会で質問しました。市バスが走っている地域と、そうでない地域のバス待ち環境の格差がどんどん広がっていることについて、「今年度予算の事業進行状況」についてたどりました。市からは、「民間バス事業者1社1社回り、アピールしている」と答弁がありました。バス停の上屋やベンチを設置する場合、市から5分の4の補助があります。「醍醐池田町のバス停にベンチを」の声は大きいので、早急に実現できるように今後も求めていきます。



市民の交通権を考えるシンポ

市民の足を守る連絡会は、結成20周年記念として、9月9日(土)午後1時30分から、二条城の北側にある社会福祉会館でシンポジウムを開催します。「京都市民の交通権を考える」と題して、土居靖範立命館大学名誉教授の基調講演や、市内各地の取り組みの活動交流が行われます。ぜひ、ご参加を！



LGBTに法的支援を当事者と懇談

西野市議はまちづくり委員会で「市営住宅の同居要件にある親族の範囲の配偶者・3親等以内の見直し」を求めました。LGBTとは、レズビアン(女性の同性愛)、ゲイ(男性の同性愛)、バイセクシュアル(両性愛)、トランスジェンダー(性同一性障害)のことです。国は2012年に公営住宅法の改正で、同居親族要件を廃止しています。他都市でも同姓婚の方の届出があれば、法律上の婚姻届は出せないが、自治体独自の「パートナーシップ証明書」を発行して入居を認めているところが増えています。当事者で、日本共産党の国政候補をされた和泉美鈴さんと懇談して京都市政にいかす点をお聞きしました。LGBTの方を差別することは人権問題であり、バリアフリー推進のネットワークにもなります。社会的に全ての人を受け入れることのできる制度が必要です。

